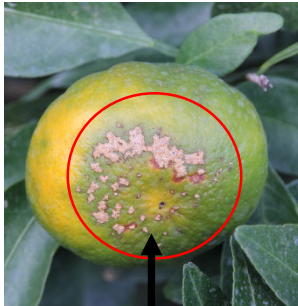


‘甘平’の硬化症対策

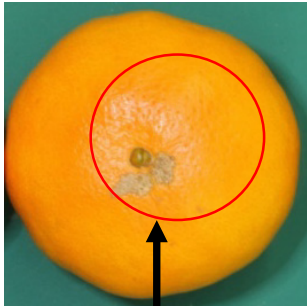
甘平では8月上旬、かさぶた状の症状が発生したり、収穫時に果頂部が硬化する。これはホウ素欠乏が原因で発生する。ホウ素剤の1000倍液を2回以上散布が必要である。また、ホウ素欠乏症発生園では毎年ホウ素剤の散布が必要である。

症状

果皮の症状

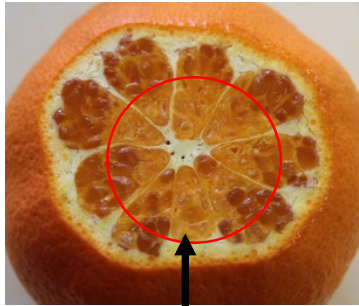


かさぶた状の症状



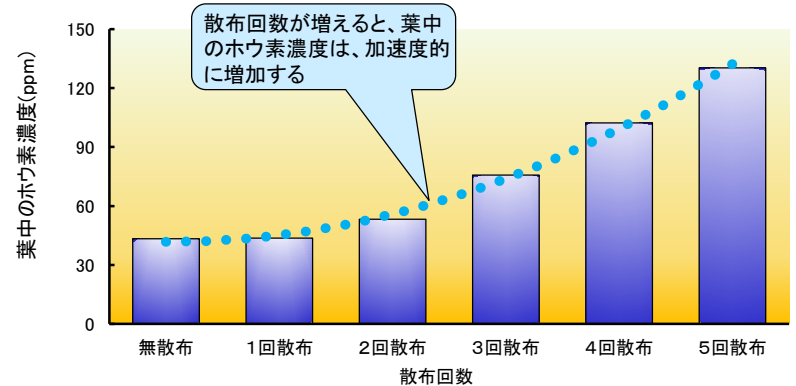
果皮が赤くて硬い

果肉の症状



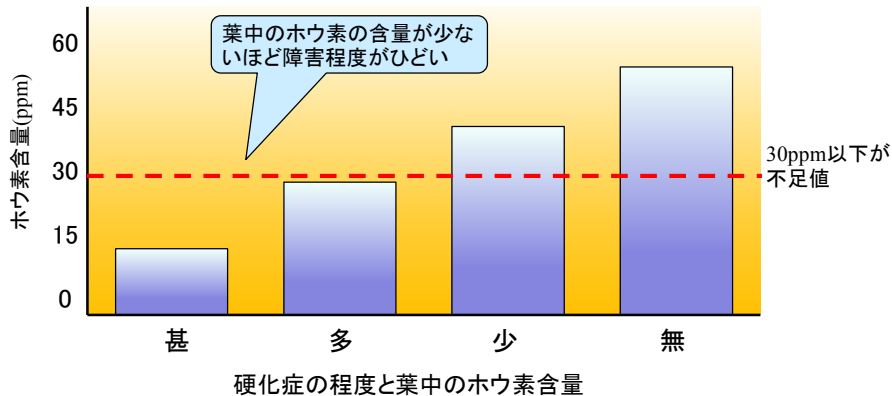
白くてばさばさ

ホウ素剤の散布程度と葉中のホウ素含量



ホウ素剤(1000倍)散布回数と葉中のホウ素濃度

硬化症の程度と葉中のホウ素含量



前年のホウ素剤散布回数と翌年の葉中ホウ素含量

甘平の葉のホウ素含量 (ppm)

前年のホウ素剤 (1000倍)散布回数	前年の葉中のホウ素含量		翌年の葉中の ホウ素含量
	散布前	散布後	散布前
無散布	28.4	44.6	20.9
1回	27.9	45.5	20.5
2回	26.3	53.2	19.3
3回	24.7	75.7	24.2
4回	25.2	102.6	30.8
5回	25.0	130.2	37.9

各5樹調査

分析日: 散布前6月上旬、散布後8月下旬

前年、ホウ素剤を散布した木でも、翌年、樹体内のホウ素は減少しており、毎年、ホウ素剤の散布は必要